

気さくな小林直太さん

大正十二年生まれの小林直太先生は、東京大学理学部同大学院を卒業後、中央大学理工学部（現理工学部）の教授として長く学生を教育され、平成六年に退職されました。同

大学の名誉教授であり、理学博士でもあります。専門は固体地球物理、弾性波動、物理探査、地震工学、環境工学など多岐に渡ります。中でも弾性波動では大きな業績をあげられ、地盤探査におけるSH波発生装置は世界で広く用いられています。これらの業績により平成十年に勲三等瑞宝章が授与されました。また、先生は郷土の偉人、小林百咄（孫の孫）の玄孫（孫の孫）にあたります。

大変な大先生なのですが、人柄円満、ユーモアに富み、女性にやさしく、興に乗ると懐かしい軍歌や高田高女（現・北城高校）の校歌を気軽に歌う先生です。

Jネットの東京サロンでは野口春雄先

輩と並ぶキーパーソンの一人です。

先生、いつまでもお元気で、後輩をこ指導ください。

（運営委員 和久井記）

